

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2295 号

Risk factors of fat embolism syndrome after trauma: a nested case-control study using a nationwide trauma registry in Japan

外傷後脂肪塞栓症の危険因子：日本外傷データベースのネステッドケースコントロール研究

戒能 多佳子（かいのう たかこ）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、日本外傷データベースの登録症例を用いて、非常に稀な疾患である脂肪塞栓症の症例を集め、その特徴や危険因子をまとめたものである。脂肪塞栓症はその疾患の希少性からその臨床的特徴や危険因子はまだ不明な点も多い。また希少なながらも重症例は致死的になりうるため、その診断や危険因子の把握はとても重要である。脂肪塞栓症が、四肢外傷に合併しやすいということは過去文献でも多く語られてきたが、我々の解析でも同様の傾向を認めた。また脂肪塞栓症は、開放骨折よりも閉鎖骨折が危険因子であると推定されていたが、これは統計によるものではなく、その病態から推察された危険因子である。今回の報告では、その反対に開放骨折が脂肪塞栓症の危険因子となる可能性を初めて示唆した。また骨折外傷において、手術までの時間遅延が脂肪塞栓症のリスクになることを明らかにし早期手術の重要性を裏打ちした意義ある論文である。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。